

龍ヶ崎

No. 1 7 6

2016. 2. 15

市議会だより



「龍ヶ崎とんび」 凧あげ大会
平成28年1月16日

目 次

第2回臨時会の議決結果及び 賛否が分かれた議案に 対する議員の態度	2
第4回定例会で審議された 主な議案・質疑	2～3
議案の議決結果	3～4
賛否が分かれた議案等 に対する議員の態度	4
市政に対する一般質問	5～11
選挙管理委員及び 補充員当選者	11
委員会審査報告 推薦・編集後記	12

平成27年第2回臨時会
第2回臨時会は、10月13日に開かれ、常磐線佐貫駅名改称事業及びこれに係る市費の支出の賛否を問う住民投票条例について審査しました。

平成27年第4回定例会
第4回定例会は、12月3日から12月18日までの16日間の会期で開かれ、各議案等の審査を行いました。

また、20名の議員が市政に対する一般質問を行い、活発な議論が展開されました。

平成27年第2回臨時会

◆◆◆◆ 提案された議案は次のように決まりました ◆◆◆◆

※賛否が分かれた議案（網掛けされたもの）に対する議員の態度については、下段で紹介しています。

議案番号	議 案 件 名	議決結果
議 案 第1号	常磐線佐貫駅名改称事業及びこれに係る市費の支出の賛否を問う住民投票条例に対する修正案（原案の条文をより正確にするため、細部を修正）	賛成少数で否決
	常磐線佐貫駅名改称事業及びこれに係る市費の支出の賛否を問う住民投票条例について	賛成少数で否決

◆◆◆◆ 賛否が分かれた議案に対する議員の態度 ◆◆◆◆

○＝賛成 ×＝反対 欠＝欠席

※賛否の態度が異なる議案（上の表中の網掛けされたもの）を掲載しています。

※議長（寺田議員）は採決に加わりません。

議案 番号	議決 結果	賛否数		議員名及び賛否の別																					
		賛 成	反 対	金 剛 寺	伊 藤	岡 部	石 引	久 米 原	山 宮	深 沢	札 野	福 島	山 崎	後 藤 (光)	滝 沢	坂 本	糸 賀	椎 塚	油 原	大 竹	後 藤 (敦)	寺 田	杉 野	鴻 巣	大 野
議 1 修正	否決	7	14	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	—	○	×	○
議 1	否決	7	14	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	—	○	×	○

平成27年第4回定例会

条 例

▼龍ヶ崎市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例について

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づき、市内の工場立地に係る区域並びに敷地面積に対する緑地施設及び環境施設の面積の割合についての規制緩和を行うため、工場立地法第4条第1項の規定により公表された工場立地に関する準則に代えて適用すべき準則を定めるため、本条例を制定するものです。

▼龍ヶ崎市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

コミュニティセンターの利用者の利用状況等を勘案し、月曜日（当該月曜日が祝日の場合は、翌日）及び祝日の翌日を休館日と定めているものを、月曜日及び祝日を休館日とするよう改正を行うものであります。また、公職選挙法第161条第1項の規定によりコミュニティセンター

の使用が認められている個人演説会等の開催について、利用者の誤解が生じないよう、使用許可の制限の規定を整理するものです。

▼龍ヶ崎市土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する条例の一部を改正する条例について

近年の市内における残土の埋立てに関する事案において、種々の問題が発生していることから、当該問題の解決のため事業主等への規制の強化及び対応の迅速化を図るため、所要の改正を行うものです。

補 正 予 算

▼平成27年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第3号）

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億8828万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ247億7780万4000円とするものです。



質 疑

議案に対して、深沢幸子議員・伊藤悦子議員・金剛寺博議員の3名が質疑を行いました。その一部を掲載します。

◆議案第1号 龍ヶ崎市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例について

議員 今回条例を定める理由、この該当地域と割合の変更点についてお聞きます。

市民生活部長 地域主権改革において、平成24年度から全ての市において工場立地法による権限の一部が移譲されました。企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第7条に基づく地域産業活性化協議会を設置し、同法第5条に基づき作成した基本計画の中で、重点促進区域と示された区域では、自治体が緑地面積率等の緩和措置を条例により定めることができ、当市においても、市内に立地する特定工場のうち、産業集積の形成または産業集積の活性化に関する基本的な計画として作成された

茨城圏央道産業コンプレックス基本計画において定めた重点促進区域で、工場敷地に余裕がない等の理由から、新たな設備投資などに苦慮している特定工場を対象に、工場等の市外流出を防止し、市内での再投資を促進するため、工場立地法に係る緑地面積率等について、市の条例により実効性のある規制緩和を行うものです。

工場立地法の規定では、工場施設の全体面積の中で、緑地面積の敷地面積に対する割合を20%以上、環境施設面積の割合を25%以上設けることと定められており、今回の条例により、重点促進区域内で甲種区域とした都市計画法第8条第1項第1号に規定されている準工業地域では、緑地面積の敷地面積に対する割合を現行の20%以上から10%以上に、環境施設面積の割合を25%以上から15%以上に緩和するものです。乙種区域とした工業専用地域及び市街化調整区域については、緑地面積の敷地面積に対する割合を20%以上から5%以上に、環境施設面積の割合を25%以上から10%以上に緩和するものです。

◆議案第7号 龍ヶ崎市土砂等による土地の埋立て、盛土及び

たい積の規制に関する条例の一部を改正する条例について

議員 条例の具体的な改正内容についてお聞きたいします。

都市環境部長 主な改正点ですが、適用範囲及び許可基準の見直しです。現行条例では、事業区域の面積が500平方メートル以上となる場合には条例の適用範囲と規定されており、これに該当する事業を行う場合に条例の許可基準が適用となっております。また、条例の規定を廃止し、面積等に関係なく全ての事業を対象とした事業基準を設けております。許可を受けなければならぬ事業区域の面積は、500平方メートル以上から300平方メートル以上に規制を強化するとともに、新たに搬入土量についての基準を追加しました。300平方メートル未満の事業区域であっても搬入土量が300立方メートル以上になる事業については、許可対象としたところですが、

◆議案第9号 平成27年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第3号) 議員 (仮称)駅前こども送迎ステーション改修工事の内容及び工事期間、安全対策をお聞かせください。

健康福祉部長 この施設は一時

的な間とはいえ、子どもたちをお預かりする施設でありますので、基本的には児童福祉施設の設備基準に準じた施設として整備してまいります。

具体的には、現状の床、壁、天井及び空調機やトイレなど附帯設備も撤去した上で、張りかえやつけかえをしてまいります。床面積約62平方メートルで、利用者は20人程度で考えております。設備は、子どもたちが自由に過ごせるチャイルドスペースや仕切り付きの授乳スペース、子ども用、大人用トイレ、洗面台のほか、キッチン、給湯設備などを予定しております。また、カーテンや壁紙等是不燃材を使用し、ガラス窓前には手すり柵を設置し、室内の段差を極力なくすなど、子どもたちが安全に待機し、過ごせるよう配慮してまいります。

工事期間は、おおむね4カ月程度、完了は5月中旬から下旬頃を考えております。

工事中の安全対策は、看板等によりまして、施設周辺を利用する歩行者などへの注意喚起、指導などに努めてまいります。

◆◆◆◆提案された議案等は次のように決まりました◆◆◆◆

※賛否が分かれた議案等(網掛けされたもの)に対する議員の態度については、次ページで紹介しています。

議案番号		議 案 件 名	議決結果
議 案	第1号	龍ヶ崎市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例について	賛成多数で可決
	第2号	龍ヶ崎市証人等に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第3号	龍ヶ崎市税条例等の一部を改正する条例について	賛成多数で可決

議案番号		議 案 件 名	議決結果
議 案	第 4 号	龍ヶ崎市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 5 号	龍ヶ崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	賛成多数で可決
	第 6 号	龍ヶ崎市介護保険条例の一部を改正する条例について	賛成多数で可決
	第 7 号	龍ヶ崎市土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 8 号	龍ヶ崎市佐貫駅東駐輪場に係る指定管理者の指定について	全員賛成で可決
	第 9 号	平成27年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第 3 号）	賛成多数で可決
	第10号	平成27年度龍ヶ崎市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	全員賛成で可決
	第11号	平成27年度龍ヶ崎市公共下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	全員賛成で可決
	第12号	平成27年度龍ヶ崎市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）	全員賛成で可決
	第13号	平成27年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	全員賛成で可決
	第14号	平成27年度龍ヶ崎市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 2 号）	全員賛成で可決
	第15号	平成27年度龍ヶ崎市介護サービス事業特別会計補正予算（第 1 号）	全員賛成で可決
	第16号	龍ヶ崎市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
諮 問	第 1 号	人権擁護委員の推薦について	全員賛成で同意
	第 2 号	人権擁護委員の推薦について	全員賛成で同意
報 告	第 1 号	専決処分の承認を求めることについて （龍ヶ崎市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例について）	全員賛成で承認
	第 2 号	専決処分の承認を求めることについて（和解に関することについて） 〔市道に生じた段差が原因による車両破損事故〕	全員賛成で承認
	第 3 号	専決処分の承認を求めることについて（和解に関することについて） 〔除草作業中に小石が飛散したことが原因による車両損傷事故〕	全員賛成で承認

◆◆◆◆ 賛否が分かれた議案等に対する議員の態度 ◆◆◆◆

○＝賛成 ×＝反対 欠＝欠席

※賛否の態度が異なる議案等（網掛けされたもの）を掲載しています。

※議長（寺田議員）は採決に加わりません。

議案番号	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別																					
		賛成	反対	金剛寺	伊藤	岡部	石引	久米原	山宮	深沢	札野	福島	山崎	後藤(光)	滝沢	坂本	糸賀	椎塚	油原	大竹	後藤(敦)	寺田	杉野	鴻巣	大野
議 1	可決	19	2	X	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○
議 3	可決	19	2	X	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○
議 5	可決	19	2	X	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○
議 6	可決	19	2	X	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○
議 9	可決	19	2	X	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○

全ての女性が輝く 深沢幸子 議員 社会について（女性活躍推進法）

議員 多くの方にトライアル雇用の有効性を周知してはいいかがか。

市民生活部長 龍ヶ崎市公式ホームページに掲載、一層の周知を行います。

議員 元気で活力のある新たな龍ヶ崎市の構築のため、女性模擬議会を開催してはいいかがか。

市長公室長 龍ヶ崎市男女共同参画推進委員会の中で、これまで市が行ってきた取組みの検証と法

防災に
強い街づくり

議員 がん検診及び特定健診受診率アップのため、市ホームページに、健診の勧めを掲載してはいいかがか。

健康福祉部長 パソコン・スマホで簡単な質問に答えるだけで自己チェックができ、受診するきっかけになる。今後調査研究します。

健康福祉部長 県内では19市町村が中学3年生まで、2市は高校3年生まで

インフルエンザ
予防接種について
— 中学3年生まで助成を求める —

議員 生後6カ月から13歳未満まで助成がありますが中学生にはありません。中学生は受験もあります。中学生にも助成をしようと、強い声があります。いかがですか。

健康福祉部長 県内では19市町村が中学3年生まで、2市は高校3年生まで

地域創生について



▲予防注射で病気を防ぐ

議員 人口急減社会で自治体が消滅しかねないと打ち出した地方創生は、自治体を支援する仕組みが含まれる一方で、公共施設の統廃合など、警戒すべき内容も含まれます。安倍政権は、農業を壊すTPPを推進、労働者派遣法の改悪で、低賃金の不安定雇用の拡大や人口減少の危機で、社会保障と地方財政の削減は避けられないと民間投資の活用と住民の自助・互助で賄うといっています。こうしたもとの地域創生で、龍ヶ崎の元

気や活性化が図れるのか、市長の見解を伺います。

市長 地方創生は、地域の特性を踏まえた市の人口ビジョンと総合戦略が求められており、市民の皆さんに、市を大切に思い住み続けて頂けるようにすること、市外の方には、定住の地として選ばれる街を目指した取り組みを加速させています。

掲載以外の質問項目
◆空き家対策について
◆子どもの貧困対策について

パラリンピックの 岡部賢士 議員 キャンプ地誘致について

議員 2020年の東京五輪を控え、当市もこの機会を効果的に生かすべき。特にパラリンピックに力を注ぐべきと考える。現在の取り組み状況についてご説明を。

教育部長 6月に基本方針を定め、流通経済大と連携しながら進めている。パラリンピック競技の候補として、現時点で陸上競技と柔道に絞り込んだ。

議員 現段階で他の競技について諦めるのはまだ早い。車椅子テニスに関する誘致活動を。

議員 保護者や地域の方々との情報共有、密な説明、相談会を。児童も保護者も統合後スムーズに馴染めるよう、両校の交流等の積極的な働きかけを。指定校変更が認められる来年度の新一年生へ早急な対応、しっかりとしたフォローを。

北文間小学校の今後について

議員 平成29年度に西小学校との統合という話が進められるようになった経緯を。

教育部長 29年度には全校児童数が60人を割り込んで、複式学級になる事が見込まれる。多くの保護者から複式学級に対する不安の意見がある。

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

マイナンバー制度は 金剛寺 博 議員

問題、中止を求める

議員 市の預かりとなつて
いる番号通知書は現在何通
ですか。また最終的に行方
不明者はどのような処理に
なりますか。

市民生活部長 合計19
61通、最終的な行方不明
者は住民票を職権により消
除します。

議員 各種申請に個人番号
記入が必要となるが、記載
出来ない場合、書類受付は
出来ますか。

総合政策部長 本人確認
ができれば受理します。

龍ヶ崎市まち・ひと・しごと

創生総合戦略（案）について

議員 大学卒業生などの
地元就職の促進とはどのよ
うな施策ですか。

総合政策部長 学生と企業
の情報の共有、資格取得
に係る資金貸付制度を検討
しており、地元就職した
場合、返済猶予や返済免除
を考えております。

議員 まちの探訪モデル

龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案） 坂本隆司 議員

地域間競争を勝ち抜くために龍ヶ崎市の方向性は

議員 茨城県県南地区で
人口減少対策において、地
域間競争が激化します。龍
ヶ崎市としての対策は。

総合政策部長 創生総合
戦略は最上位計画である、
ふるさと龍ヶ崎戦略プラン
の骨格になる計画です。新
たに（仮称）駅前子ども送
迎ステーションや小中一貫
教育の推進、さらに都心方

中心市街地活性化事業について

議員 中心市街地の活性
化には特効薬が無いと言
われています。全国各地
で様々な取り組みが行わ
れていますが、成功例が
少ないのが現状です。龍
ヶ崎市の対応は。

市民生活部長 今後の取
り組みといたしましては、
行政や地元金融機関、産
業団体などが一体となつ
た中小企業へのサポート
体制が必要であると考え
ております。

議員 どこかの真似でな



▲市街地活性化対策を

札野章俊 議員

マイナンバーの導入について

議員 マイナンバーカード
取得の今後のスケジュール
と市の作業状況等を教えて
ください。

市民生活部長 必要書類
をご持参の上、市役所の交
付窓口で本人確認と暗証番
号を設定して、カードが交
付予定です。市役所1階
ホールに特別窓口を開設し
て対応する予定です。

議員 マイナンバー運用時
の当市における個人情報保
護の管理についてお聞かせ
ください。

総合政策部長 本市では、
平成12年7月に個人情報保
護条例を施行し、利用、提
供、管理に係る適正な取り
扱いに関し、統一的なルー
ルを定め運用を行っていま
す。さらに、学識経験者な
どで構成する龍ヶ崎市情報
公開・個人情報保護審査会
を設置しております。

情報セキュリティ研修に
関しては、運用前に嘱託職
員、臨時職員を含む職員全
員を対象とし研修会を行い
ました。また、昨年度から情
報セキュリティ内部監査を
開始しております。

掲載以外の質問項目

◆たつのこプレミアム商品
券について

◆人口減少対策について

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

高齢者の住みよい久米原 孝子 議員 まちづくりについて！

議員 交通の不便さを感じている方々の声を反映するため、コミュニティバスのルートにない高齢者のご意見を聞くアンケートを実施できませんか。

市民生活部長 公共交通に関するニーズについて地域公共交通網形成計画策定の中でアンケート調査などにより把握してまいります。

議員 バス停留所にベン



▲コミュニティバス

金婚式お祝い事業について

議員 結婚五十年を迎えるご夫婦にお祝い事業として合同の金婚式を行ってほしいと思いますが可能ですか。

健康福祉部長 入籍後五

十年を経たご夫婦の金婚式は、長年のご夫婦のご苦労に報い、末長いご健康を願う行事として有益なものと考えます。

今後高齢者が生きが

- ◆掲載以外の質問項目
- ◆認知症を抱える家族へのケアについて
- ◆ゴミ減量化対策について

龍ヶ崎スタイルの 椎塚俊裕 議員 教育政策を目指して

議員 市が目指すべき教育政策について、ご見解をお伺いします。

市長 新教育委員会制度が本年4月にスタート、教育大綱、教育振興基本計画策定を市長部局と教育委員会が力を合わせ、今後の教育を考えなければなら

と向き合う機会を増やすため、専門家などと連携する「チーム学校」の取り組みが必要なのは。

教育部長 学校教育相談員が、学校運営や相談活動と共に、学校訪問による若手教員の育成。

「龍の子支援システム」による学校現場と教育委員会、こども課、保健センター等関係各課の職員連携による支援、また「たつのこ支援会議」を開催し、子供たちの情報共有と、学校現場や児童相談所等の外部関係機関とも連携し、いじめや不登校、虐待など問題解決に当たります。

スクールカウンセラー、ライフサポーター・ソーシャルワーカーなど心理に関する研修を積んだ専門家とも連携等を計画的に行い、背景の生活状況の改善に当たり、児童・生徒の健全育成に取り組んでいます。

第2子以降 油原信義 議員 保育料の軽減・無料化！

議員 市独自の先進的施策として3人目のお子さんの保育料を無料化する第3子支援事業が、平成25年度をもって廃止され、逆に国は少子化対策として第3子の保育料無料化を制度化しました。ただ

の制度を生かしながら、市の独自施策として、第2子の保育料の軽減・第3子以降の保育料無料化を進めてはどうか。

健康福祉部長 国におきましても少子化対策等の一環として、幼児教育の無償化に向けた取り組みを段階的に進める方針を示しておりますので、国・県の動向を注視しながら、適切に対応して参ります。

不妊治療助成の充実

議員 不妊治療費助成回数10回が、39歳まで6回・40歳以上3回・43歳以上は対象外と改正されました。不妊治療を希望する方は、母体への負担やリスクを理解しながらも子どもを授かりたい方、市の独自施策として支援すべきと考えます。又、助成額の増額、所得制限の撤廃についても、子どもを産む環境づくりを踏まえ検討願いたい。

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

小中一貫・義務

山崎孝一 議員

教育学校設置について

議員 平成23年5月、当市教育委員会において、小中学校の適正規模適正配置、市内各校の現状が報告されております。それから4年が経過しております。来年度には見通しがなされるものと思われませんが児童・生徒の減少に歯止めがかからない現状であります。今後小中学校の統廃合は否応なしに進んでいくものと認識せねばならないと私は考えています。当市小中学校の適正規模適正配置と小中一貫・義務教育学校に対する当市の考え方と今後の取り組み方について伺います。

教育部長 当市において小中一貫教育についてどのように対応していくかにつきましては、今年度から教育委員会で実施校へ出向いて視察を行い、調査研究を実施しているところであります。平成

27年度以降に再度、適正規模適正配置について検討することとされております。基本方針を策定しましてから今年で4年が経過しますが、その間少子化はさらに進行しております。当市の小中学校適正配置審議会を設置して、今年度の調査研究の成果を踏まえ、小中一貫を含め小中学校の適正配置について検討していきたいと考えております。

掲載以外の質問項目

- ◆一人暮らし高齢者の対応策について
- ◆牛久沼周辺の枯草等の焼却について

AEDの設置に

山宮留美子 議員

対する助成について

議員 平成27年に市内で行われた防災訓練の回数と参加者数について教えてください。

危機管理監 平成27年度の現在までの防災訓練の回数は36回で、参加者数は約8700人です。

議員 その中で、地域の自治会や、自主防災組織で行われた防災訓練の回数と参加者数はいかがでしょうか。

危機管理監 自主防災組織の訓練は18回行われ、AEDを使用した訓練は4回で、参加者は約300人です。地域防災訓練は10回の実施で約5200名の参加があり、AEDを使用



▲AED訓練参加を

した訓練は8回行われ、増加傾向です。

議員 私も女性消防団員として、いくつかの訓練に

出動させていただきまして、その中で市民の方からありました声に、皆が集まる地域の自治会館や集合住宅の管理事務所にAED

を設置する際の助成金や、アドバイスがあれば設置したいという声を数多くお聞きしました。それについては、いかがでしょうか。

危機管理監 現在ではAED設置に対する助成につ

いてはございませんが、今後調査研究をしてまいります。

議員 市民の安心安全のため、前向きにご検討をよろしく願います。

掲載以外の質問項目

- ◆高齢者肺炎球菌ワクチンについて
- ◆ひとり親家庭の障がい児に対する助成について

リーサス活用に

大竹昇 議員

よる政策立案について

議員 2060年の当市の目標人口6万5600人と推計していますが、リーサス(地域経済分析システム)を活用しての実態に即した独自の人口推計値5万14

79人の時の2030年、2040年の合計特殊出生率をお聞かせください。

総合政策部長 社人研が推計に用いた数値2030年は、1・26076、2040年では1・26369です。

議員 全国の市町村で合計特殊出生率の一番高いところ並びに低いところはどこですか。

総合政策部長 徳之島で2・81、京都市東山区0・77です。

議員 人口マップからの政策を述べてください。

総合政策部長 地域別の人口動態では、20歳から34歳の男性、20歳から39歳の女性の東京への転出が顕著であり、都心へ通えるまち

づくりや30歳以降の年代は転入超過の傾向にあることから、子育て世代の移住・定住を促進するための保育環境や教育環境、生涯学習環境の充実を推進致します。

議員 近隣市町村の2060年における社人研将来人口を教えてください。

総合政策部長 牛久市7万635人、取手市5万8676人、稲敷市1万8493人、阿見町3万1315人、利根町7634人、河内町3538人、美浦村8172人、龍ヶ崎市5万4299人となっております。

議員 消滅都市になりかねない町もあるので、当市が拠点都市構想を持ち、広域連携政策に挑んで頂きたい。

当市の資源活用、土地の有効利用、中心商店街の再生、新起業事業など、市民の英知の結集とさらに事業化に導く外部人材導入を考えてください。

福島 正明 議員

自転車の交通安全対策について

議員 自転車と歩行者による交通事故が増加傾向にあり、運転者側が多額の損害賠償を請求される事例が相次いでおります。自転車保険の加入促進策の一環として補助金や助成制度を導入する自治体が増えてきており、当市としても同様の施策が必要と考えるのですが、見解をお聞かせください。

教育部長 中学生とその家族全員分の自転車保険を市が一括で加入しているという事例もあります。他の自治体の取り組みも調査し、必要性について研究をしてまいります。

中心市街地の活性化について

議員 6月の議会でも、にぎわい広場や中央公園等の市有地を中心として、様々な機能を備えたステーション的な拠点整備を図っていく、との答弁がありました。あらためて八坂神社周辺の市有地を含めた一体的な活用についての見解をお聞かせください。

市民生活部長 イベント等での限定的なにぎわいに留まらないよう、中心市街地全体への波及を考えた回遊性の創出や拠点性を高めることが必要と考えます。

議員 神社周辺という特性を活かした拠点づくりが有効と考えますが、今後の取り組みについてお聞かせください。

市民生活部長 まずは専門的なノウハウを有する方をお招きし、市民と事業者、行政が互いに課題を共有することや今後取り組むべき事業を検討してまいります。

後藤 光秀 議員

龍ヶ崎イベントの発展について

―イベント総合窓口の設置を―

議員 牛久沼水辺公園はスペースも広く牛久市と取手市との中間でもあり、当市の存在感をPRできる絶好のスポットだと思います。竹と和紙のようなもので作った紙袋に火を灯し一斉に空へ飛ばすスカイランタンというものがあります。当市独自のイベントとして「龍ヶ崎スカイランタン祭り」の実現を提案します。

総合政策部長 課題はあるものの、お客様を呼べる魅力的なイベントであると思います。本市の認知度向上や牛久沼の有効活用と関連づけた取り組みの一つとして調査研究して参りたい。

議員 もう一つ、龍ヶ崎発シティプロモーションについて

議員 佐賀市では知名度アップを目的としてウェブ用ショートムービーを活用している。市内外へと全国的にPRする戦略の一つとして、当市でも検討してはいかがか。

後藤 祥として県南最大規模の音楽野外フェスを提案します。

教育部長 市民により主体的に企画されるようなイベントであれば随時協力をして参りたい。

議員 当市のPRからインパクトある特性を活かしたイベントなど、龍ヶ崎をもっと盛り上げるには市役所側が受け身体制では絶対ダメでもっと積極的になつてほしい。市のPRや各種イベントの総合窓口のような課の設置を要望します。

副市長 各種イベントの相談、支援、情報発信や広報活動など、総合的に対応できるように部署を検討していきたい。

議員 もう一つ、龍ヶ崎発シティプロモーションについて

総合政策部長 イメージをダイレクトに伝えることが可能なことからシティプロモーション活動において注目すべきツールと考えます。独自の取り組みと合わせ、調査研究して参りたい。

国際大会の

キャンプ地誘致の進捗状況

滝沢 健一 議員

議員 要は誘致を検討するような組織委員会の立ち上げが必要ではないかと言いたいわけです。先程の答弁では検討していないとの答弁ですので、これ以上、進めようがありませんが、本気で誘致を進めて行くには市長を核とし、有識者を交えた検討組織が必要だと考えております。

誘致 誘致に取り組むに当たり、ただ、練習をしてもらう誘致ではなく、誘致活動を通じて見えてきた課題を解決することや市民の環境意識を高めたり、スポーツの裾野を広げたり、龍ヶ崎市の名を全国に、世界に発信していくことが重要であり、結果、来るか来ないかはわかりませんが、誘致に向けたプロセスが非常に大事であると思いますし、市民の機運の醸成も重要で、この誘致活動を通じて龍ヶ崎市に何を残せるかが重要な取り組みであると考えられておりますが、市長はどのようにお考えか。

市長 招致するための組織づくりというのは具体化していく段階では、当然のごとく必要になってくるのかなと思っております。今の段階での検討ということではありませんが、検討しななければならない時期が来るのではないかと考えています。

こちら こちらのやる気を示すという意味でも、招致委員会のような組織を持つて内外に示していくことは、大変重要なことであるという思いは議員と同じ思いでもあります。

掲載以外の質問項目
◆防災教育の取り組みについて

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

牛久沼を一周できる遊歩道を！

石引礼穂 議員

議員 住んでみたいまちづくりについて、今後の具体的な案をお聞かせください。あわせてシビックプライドのあるまちづくりについての理解もお聞かせください。

総合政策部長 本市には、他に誇れるオンリーワン・ナンバーワンの地域資源が存在いたします。それらを戦略的かつ効果的に情報発信することが重要であると

考えています。そして自分たちが住むまちに対する自信や誇り、そして愛着心の醸成など、議員がおっしゃるシビックプライドの形成にもつなげていきたいと考えています。

議員 私から二つ提案させていただきます。一つ目は、「牛久沼を一周できる遊歩道」です。この遊歩道ができれば、ウォーキング、ランニング、サイクリング、牛久沼の景観を觀賞することに加え、健康増進

龍ヶ崎市の障がい者福祉について

糸賀 淳 議員

議員 障がい者に対する理解や差別、偏見の軽減、解消には啓発活動が大切だと考えるが、当市の施策について伺いたい。

健康福祉部長 当市では障がい者に対する市民の理解を深めるための記事を市の広報紙やホームページで複数回にわたり掲載した。さらに附属機関である龍ヶ

崎市障がい者自立支援協議会の広報・啓発部会を中心に、広く市民の皆様を対象とした障がい理解するための講演会の定期開催を目的し、理解啓発に向けた取り組みを進めている。

議員 パラリンピックを契機とした障がい者スポーツの環境整備は、障がい者福祉についての啓発、広報という観点からも、投資的な

効果の可能性の観点からも取り組む価値は十分ある。検討していただきたい。議員 障がい者の現状を見ると、例えば精神障がい者

産業競争力強化法 後藤敦志 議員 に基づく創業支援

議員 当市における企業の開業率と廃業率は。

市民生活部長 経済センサス調査から算出すると、平成24年度の開業率が1・84%、廃業率6・06%です。議員 平成24年度の調査では新設事業所が140、

廃業事業所が463であり、差し引き323カ所、龍ヶ崎市内の働く場所がなくなりました。廃業率は高

くても良いが開業率が上回っているか、同水準であることが必要だ。そうでなければ、どんな当市で働く場所が減ってしまう。働く場所を確保する

方法として企業誘致のほか、行政が積極的に関わり企業を生み出す、創業支援がある。産業競争力強化法に基づく創業支援について、当市の見

計画の策定があります。計画が国に認定されると、補助金など関係省庁の各種施策を活用でき、開業率の向上、雇用の確保などに繋がると認識しています。県内でも策定済みの自治体もあることから、

議員 計画の認定を受けることで、創業者は登録免許税が半額に減免され、創業関連融資保証枠が1000万円から1500万円まで拡充される。現状は当市で創業するより、認定を受けたつくばや土浦で創業したほうが具体的なメリットがある。創業するなら龍ヶ崎市でと

思われるよう出来るだけ早く創業支援事業計画策定、国の認定へ取り組んで頂きたい。

市民生活部長 産業競争力強化法の具体的な取り組みとして創業支援事業

掲載以外の質問項目
◆子育て支援について

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

佐貫駅周辺地域 大野誠一郎議員

整備基本構想について

議員 定住人口の増加、交流人口の増加を目指しての、佐貫駅周辺地域整備基本構想策定についての思い、考え方について見解をお願いします。

市長 龍ヶ崎市において人口増のポテンシャルも含めて、様々な形での可能性を一番強く持っているエリアが、佐貫駅周辺地域であるという思いを強くもっているところでもございます。

議員 基本構想策定の目標年度は平成52年度、25年後に設定されているがその理由は。

総合政策部長 まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連も含めまして平成52年度を目標にしたところからです。

議員 基本構想策定の4本柱の1つの低未利用地の活用は40年前から課題になっているが、その実現の可能性の目算は。

掲載以外の質問項目
◆龍ヶ崎市の財政状況について

介護難民をだすな！（第3弾）

―特養等施設入所待機ゼロ実現へ―

議員 要介護3以上の認定を受けている方の人数と、その内、特養等施設へ入所されていない方の人数は、又、2025年時点での推計人数は各々何人ですか。

健康福祉部長 現在、要介護3以上の方は1027人です。その内、施設入所の方は503人で、入所されていない方は524人です。2025年での要介護3以上の認定者は、1683人と見込んでいるところで

議員 現行介護保険事業計画のままで、2025年時点で推計1千人余の方が、特養等施設に入所されていないことになりました。つまり在宅等での介護を余儀なくされることになりま



▲増設されても待機が続く特養

杉野五郎議員

【委員】

選挙管理委員及び補充員の選挙
次の方々が当選されました。



鈴木 尚信 氏



池田 光一 氏



時田 淳次 氏



飯塚 洋子 氏

【補充員】

中澤 清氏
青野 一氏
土屋 廣氏
飯塚 邦子氏

委員会 審査報告

第4回定例会では
3つの常任委員会が
開催されました。本
会議におけるそれぞ
れの委員長報告の一
部を掲載します。

総務委員会

龍ヶ崎市証人等に対する実費
弁償に関する条例の一部を改正
する条例については、議案3
件、報告1件について審査しまし
た。

平成27年度龍ヶ崎市一般会計
補正予算（第3号）の所管事項、
ふるさと納税について、「寄附金
の使い道について、要望の多い順
番に教えてください」との質疑に
対し、「1番要望が多いものは、
『市長にお任せします』、2番目
が『未来を担う子どもたちのための
事業』です」との答弁があり、賛
成多数で了承しました。

文教福祉委員会

龍ヶ崎市国民健康保険税条例
の一部を改正する条例について
ほか、議案6件、報告1件につい
て審査しました。

平成27年度龍ヶ崎市一般会計
補正予算（第3号）の所管事項、
私立保育所保育助成事業につい
て、「休日保育事業のPRはどの
ようにしますか」との質疑に
対し、「子育てガイドブックに掲
載し、転入者や妊婦の方に配付
しています。今年度、新しいもの
をつくり、保育所や幼稚園に配
布予定です」との答弁があり、賛
成多数で了承しました。

環境生活委員会

龍ヶ崎市土砂等による土地の
埋立て、盛土及びたい積の規制に
関する条例の一部を改正する条
例については、ほか、議案6件、報告
1件について審査しました。

平成27年度龍ヶ崎市一般会計
補正予算（第3号）の所管事項、
（仮称）市民サテライトステー
ション整備事業について、「出張
所で行っていない業務を行う考
えはありますか」との質疑に対
し、「パスポートや個人番号カー
ドの交付等を考えております」と
の答弁があり、全員異議なく了承
しました。

推薦

人権擁護委員

人権擁護委員は、地域住民の人
権が侵害されないように常に注意
を払い、もし人権が侵害された
ときはその相談を受け、被害救済の
ために速やかに適切な処理をし
ます。



もりた もも子 氏



たけだ よしこ 氏

編集後記



平成27年第4回の定例会の一
般質問は、なんと20名の議員が
行いました。議員定数が24名の
時には1度20名があつたよう
ですが、定数が22名になってから
は初めてで、議長を除くと前代
未聞の95%超えの質問率でし
た。いろいろな質問がありまし
たが、今回の質問の中で多かつ
たのが「龍ヶ崎市まち・ひと・

しごと創生総合戦略について」
でした。

龍ヶ崎市議会では、「議会基本
条例」の柱でもある議会報告会
を開催するため、議会報告会実
行委員会を設けました。本年に
第一回目の議会報告会を開催す
る予定です。多くの皆さまの参
加をお待ちしております。

これからも、さらに開かれた
議会、市民に信頼される議会、身
近に感じてもらえる議会を目指
してまいります。皆さまからの
ご感想やご意見をぜひお寄せく
ださい。

石引礼穂 記

「議会だより」に対する「意見・ご要望をお寄せ下さい」。

議会だよりは、これからもう
り一層、分かりやすく親しみや
すい紙面づくりを目指してい
きます。

「ご意見やご要望など、FAX・
電子メール・郵便で随時受け付
けていますので、お気軽にお寄
せ下さい。

お寄せいただきました「ご意見
等」につきましては、今後の紙面
づくりの参考とさせていただきます。
ます。なお、個別の回答は、行
いませんことをご了承ください。

広報委員会

委員長 山宮留美子
副委員長 岡部賢士
委員 伊藤悦子
委員 石引礼穂
委員 後藤光秀
委員 坂本隆司

発行 龍ヶ崎市3710
龍ヶ崎市議会

電話 60-1566
FAX 60-1585

電子メール gikai@city.ryugasaki.ibaraki.jp